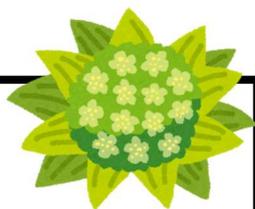


令和7年度



赤羽根の里だより

茅ヶ崎市立赤羽根中学校 学校便り 令和8年3月2日(月)
校長 高橋 励



Dear Student(*~*)

あかちゅう “赤中のバトン”って？

～小和田小学校6年生への出前授業～

気がつけば、もう弥生。先週25日、ひさびさに降った雨の中、3年生の有志が3年の先生たちと小和田小6年生への出前授業にいきました。

中学生の姿を身近に感じてもらうのも有志生徒が参加する出前のねらい。コロナ禍にはさすがに見合わせていたようですが、小和田小・赤羽根中の9年間の中で大切にされてきた取り組みのようです。今年の3年生も、みんな“やさしいおにいさん・おねえさん”としてアシスタント・ティーチャーを務めてくれていました。



自分がしてもらったことを後に続く人へと返しながらかつないでいくふるまいを“恩返し”ではなく“恩送り”って表現する人がいます。発想がステキで共感できる言い回しですが、赤中では、それも含めて“赤中のバトン”というコトバとして受け継がれているのでしょう。1,2年生のあなたも、いつか、恩送りをする時がくるのでしょうか。その時には、いいバトン、繋いでくださいね。

ところで……。

先々週そして先週と、体育祭の持ち方の変更と「茅ヶ崎市立学校における部活動の活動方針」の改訂について学校からお知らせしました。いろいろと思いはあるかもしれませんが、ちょっとだけあなたが生まれる前の時代の話をしておきます。

昔、開校当時の昭和終わりから平成15年度までの赤羽根中学校には9月に文化祭がありました。そして、平成初め頃まで体育祭も秋開催でした。2学期と呼ばれた9～12月の間に、文化祭・体育祭・合唱祭が立て続け。それが当時は“当たり前”でしたが、行事に追われる2学期の解消のため体育祭が今の時期に移されました。

平成13年度までは土曜日にも半日授業がありました。土曜日を休みにする分、平日の授業の時間を保障するため文化祭という行事をやめることにしました。「ふれあい講座」はその後15年度から始まりましたが、2月開催になったのは17年度からで、それまでは10月開催でした。そして、翌18年度に「中学生と大人の集い」が同日開催されることになったようです。

時代の移り変わりのなかで“当たり前”だったことも姿を変えてきています。赤羽根中学校を今に繋いできたその当時の人たちは、変わる中でも大切なことを残そうとして、その時々で工夫をしながら伝えてきてくれたのだと思うのです。

“赤中のバトン”って何でしょう？それは、形ではなくて“想い”だとわたしは思っているのですが、あなたはどうか考えますか？